

### ◎わが愛する青年に贈る

科学等でも、それまでの定説を転換するような原理を説けば、批判や抵抗を受けます。ましてや、人間の根源悪の克服をもたらす仏法を弘めていけば、障魔が競い起こることは必然です。仏法の道理が正しいからこそ、反発や非難を避けることはできない。無明に支配された生命は、正法を嫌うからです。

(『わが愛する青年に贈る』 58 ページ)

### ◎新・人間革命 勝ち鬨の章

歴史的偉業をなす人物は、民衆の大地にしっかりと根を張っている。それゆえに、民衆の犠牲の上に君臨する権力者たちは危機感を募らせ、野望と保身から発する妬みと羨望の炎に身を焦がし、民衆のリーダーを躍起になって排斥しようとするからである。それが迫害の構図である

(『新・人間革命』 第 30 卷 〈下〉 67 ページ)

### ◎御書の世界

南無妙法蓮華経の「下種」とは、いわば究極の励ましです。人々の生命の底に眠っている勇気の花、希望の花を引き出し、目覚めさせるのです。

(『池田大作全集』 第 33 卷 340 ページ)